

第3回福山市都市マスタープラン 検討委員会の振り返り

1

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- ・日 時：2025年（令和7年）7月7日（月）19：00～
- ・場 所：福山市役所議会棟 4階 理事者控室
- ・出席者：以下の通り

	所 属	役 職	名 前
1	広島大学	教授	田中 貴宏
2	呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
3	福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
4	福山商工会議所	専務理事	小林 仁志
5	福山市商工会連絡協議会	事務局長	藤城 敏雄 (代理出席)
6	福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
7	社会福祉法人 福山市社会福祉協議会	課長	竹廣 陽子
8	社団法人 広島県宅地建物取引業協会福山支部	福山支部長	浅利 清
9	市民委員		田村 晃宏
10	市民委員		土居 稔弘
11	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	副所長	杉原 義和
12	広島県東部建設事務所	次長	山口 純
13	福山市建設局	局長	市川 清登

第3回検討委員会の様子



2

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

議 題

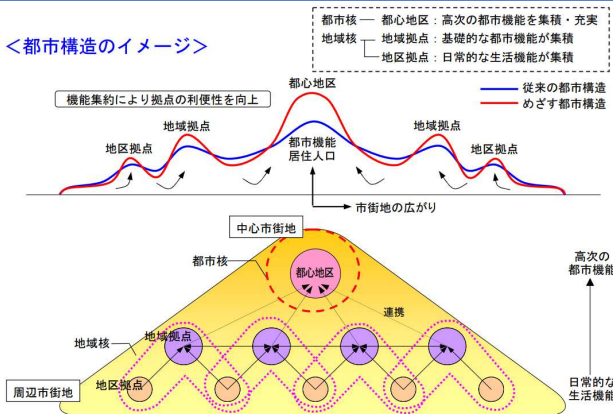
○将来の都市構造（案）

将来の都市構造については、
6地域の特性や都市機能の状況に応じて、

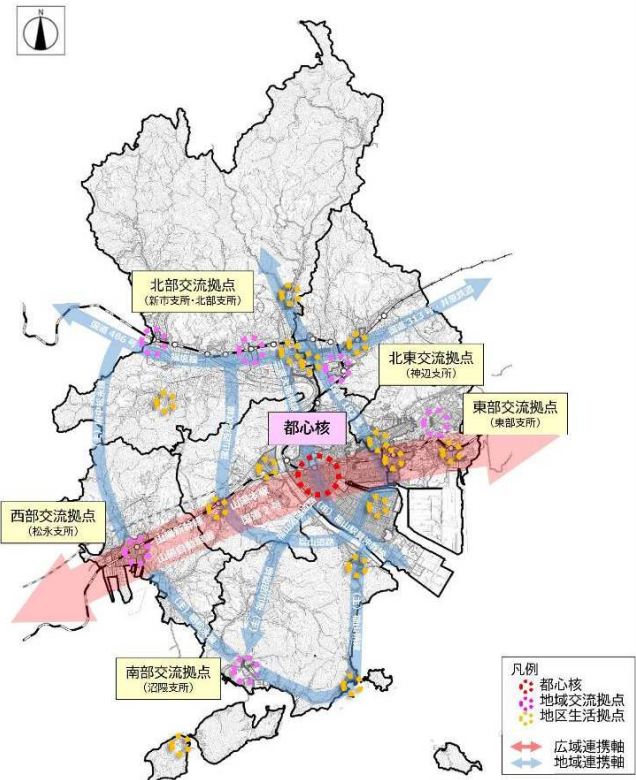
日常的な生活機能が集積する「**地区生活拠点**」
基礎的な都市機能が集積する「**地域交流拠点**」
より高次の都市機能の集積・充実を図る「**都心核**」

段階的な都市拠点の形成をめざします。

<都市構造のイメージ>



都市構造図



3

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

議 題 ○都市整備の基本方針（案）【土地利用】

（基本的な方針）

- ・都市のコンパクト化
- ・災害リスクの高い区域については、市街化調整区域に編入

（住宅地）

- ・地域の環境や特性に応じて、住環境基盤の整った良好な住宅地を形成

（商業地）

- ・鉄道駅や幹線道路周辺で商業・業務・サービスなど、既存集積を生かした土地利用を促進

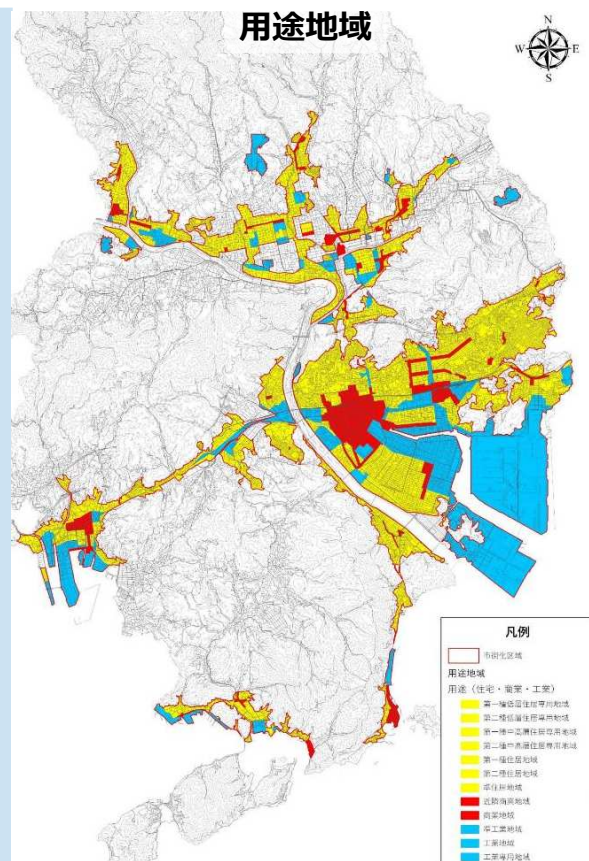
（工業地）

- ・住工混在地区の改善に向け、工場の集約配置や地区計画制度を活用
- ・新たな産業用地の確保を進めるため、市街化調整区域内にある土地を弾力的に活用

（農用地）

- ・土地の適性に応じた有効な土地利用

用途地域



4

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

議 題 ○都市整備の基本方針（案）【市街地整備】

（都心核）

- まちなか居住の促進
- 歴史や癒しを感じる景観形成
- 移動しやすい歩行空間の整備
- 都市機能の誘導

福山駅南口



（地域交流拠点・地区生活拠点）

- 都市機能の誘導
- 良好な居住環境の創出
- 空き地・空き家の有効利用

松永駅北口



（大規模住宅団地）

- 空き地・空き家の有効利用
- 都市機能の誘導
- 地域交通機能の充実

大規模住宅団地

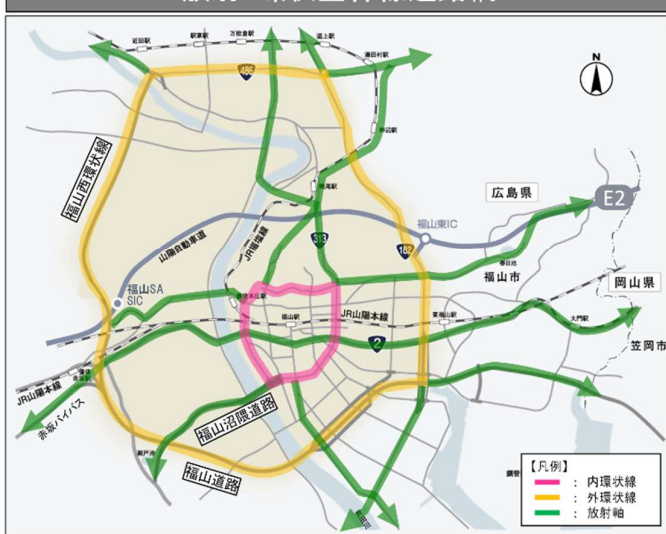


5

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

議 題 ○都市整備の基本方針（案）【道路・公共交通網整備】

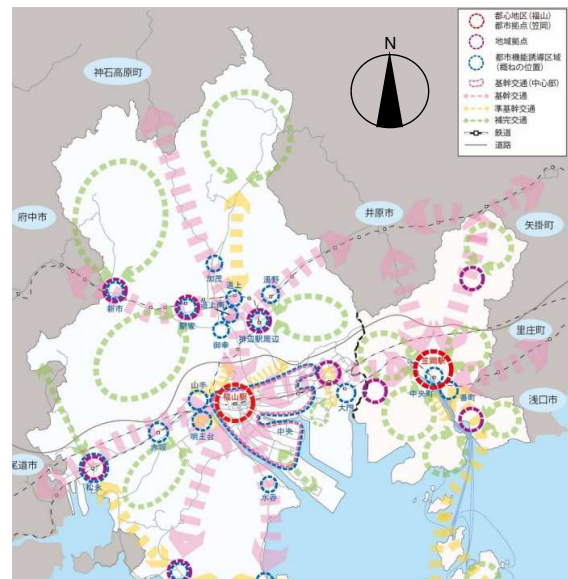
放射・環状型幹線道路網



【道路整備の方針】

（幹線道路）

- コンパクト・プラス・ネットワークに資する道路網整備
- 広域的な交流・連携の推進、企業の生産性向上に資する広域交通ネットワークの形成



【公共交通網整備の方針】

- 拠点間の連絡や区域内的の施設へのアクセス等ができる利便性の高い地域公共交通ネットワークを形成するため、その機能・役割を担う交通モードを適材適所に配置する。

6

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

議 題

- 将来の都市構造（案）
- 都市整備の基本方針（案）

議題に対する主な意見
インフラ整備と並行して どのようにまちをコンパクト化し、周辺部の住民を中心部へ誘導するのか。
人口減少により商業や居住の維持が難しくなることを踏まえ、 一定の人口密度を保ち、効率的なインフラ整備や維持管理のため、都市のコンパクト化が不可欠 だと考える。
福山市が今後も工業都市として発展するために、現段階で 工業用地や道路ネットワークの在り方 を明確に示し、 住宅地や商業地だけでなく工業分野にも配慮した土地利用計画が必要 である。
人口減少下で新たに開発するエリアの今後の整備方針も議論が必要と考える。 高い発展の可能性を持っているエリアの特性を活かした検討を求めたい。
ポテンシャルがある地域について可能性や課題を洗い出し、それらを結びつけて都市マスタープランの骨格を作る よう、プロセスの再検討を求める。
南北の道路整備と公共交通機関の活用をどう両立 させるかが重要と考える。 方針や目的をはっきり させて施策を絞り込むべき。
市がめざすべき方向性 について、十分に議論する必要がある。

検討委員会ワークショップを実施

7

検討委員会ワークショップの振り返り

検討委員会ワークショップ

- ・日 時：2025年（令和7年）10月14日（火）18：30～
- ・場 所：福山市役所本庁舎 3階 小会議室
- ・出席者：以下の通り

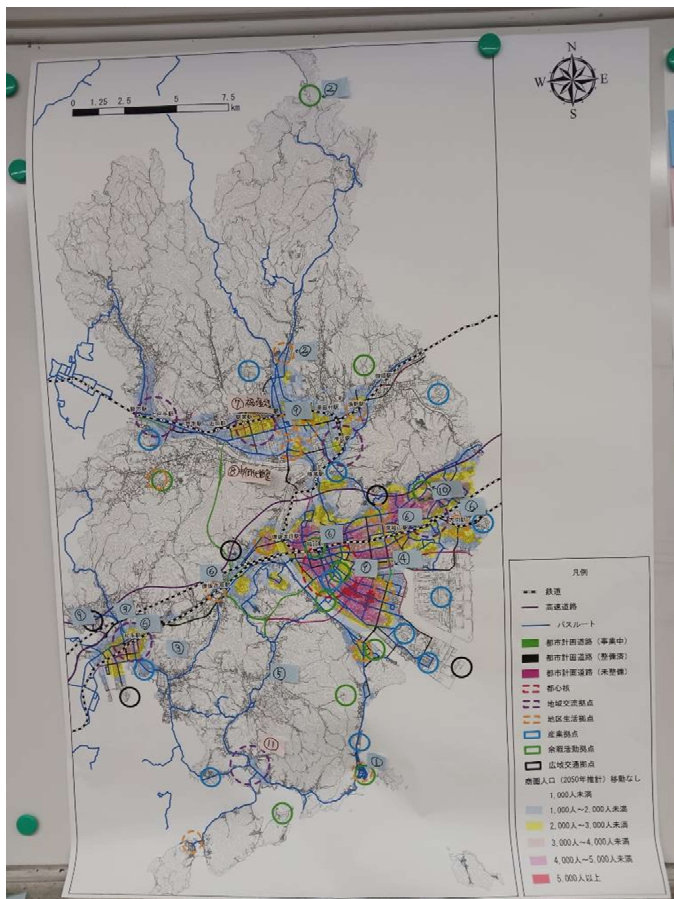
	所 属	役 職	名 前
1	広島大学	教授	田中 貴宏
2	呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
3	福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
4	福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
5	社会福祉法人 福山市社会福祉協議会	課長	竹廣 陽子
6	市民委員		土居 稔弘
7	市民委員		森山 恵
8	福山市建設局	局長	市川 清登

※任意開催のため、参加可能な委員のみで実施



8

検討委員会ワークショップの振り返り



9

検討委員会ワークショップの振り返り

検討委員会ワークショップ

人口減少下においても持続可能な発展に資する都市づくりについて意見を抽出する。



20年後を見据えた都市づくりの理念（ビジョン）を検討委員会で共有する。



・ワークショップの意見を踏まえ、第4回検討委員会を開催する。

・理念（ビジョン）に基づく都市整備の方針について検討委員会で議論を深める。



10

第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

○次期福山市都市マスタープラン策定に向けた全体の流れ

